

研究室名

生物機能化学研究室

主な研究内容と目指す将来像

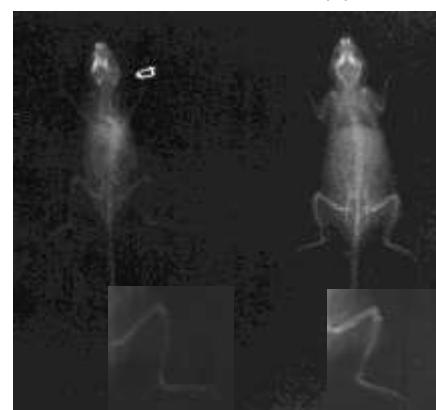
生体の恒常性が崩れることで起こる病気の改善や予防が可能な機能性分子の働きについて、骨や小腸、皮膚等の器官の機能に注目して研究しています。体の恒常性という自己調節機能を様々な角度から検討し、機能性成分の科学的根拠に基づいた治癒や予防方法の確立を目指し研究を進めています。また生物資源から新しい高付加価値材料を創製する研究も行っています。

研究キーワード

生体恒常性／骨疾患／免疫疾患／一遺伝子多型／コラーゲン／皮膚／腸内環境

研究の魅力・面白さ

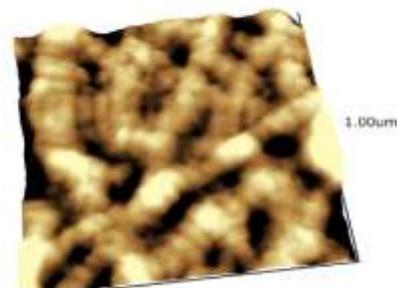
遺伝子変異マウスの骨 変異無



前橋は養豚が盛ん



ブタより抽出した
コラーゲン分子の顕微鏡写真



受験生へのメッセージ

研究を通じて生体の恒常性調節機構の仕組みや疾患を解決する方策についての知識が身に付きます。また、地域資源から高付加価値材料を社会に生み出していく人を歓迎します！

連絡先

hihoshi@maebashi-it.ac.jp